



与論島の島是「誠」

誠風

個性が輝き 島が輝く 誠の教育

与論町教育委員会だより

第304号

令和4年7月21日発行

891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花1418番地1

電話：0997-97-2441/Fax：0997-97-4196

Email：gakumu@yoron.jp

【「鹿児島学習定着度調査」の結果】

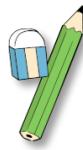
今年1月18日（火）・19日（水）に行われた鹿児島学習定着度調査の結果の概要をお知らせします。

この調査は、学習指導要領において身に付けることが求められている「知識及び技能」や「思考力・判断力・表現力等」の定着の状況を明らかにするため、鹿児島県の全ての小学5年生、中学1・2年生を対象に毎年実施されているものです。

与論町の児童生徒の通過率(%)は以下のとおりです。大島地区の平均や鹿児島県全体の平均も示しましたので、併せて御覧ください。

【昨年度小学校5年生（現小6）】

	国語	社会	算数	理科
与論町	78.9	86.4	79.5	81.0
大島地区	70.8	80.3	68.3	71.1
鹿児島県	72.3	79.9	70.6	73.1



【昨年度中学1年生（現中2）】

	国語	社会	数学	理科	英語
与論町	73.0	74.5	74.4	69.5	63.3
大島地区	71.9	72.9	67.6	69.1	67.4
鹿児島県	73.6	70.3	66.0	69.4	71.5

【昨年度中学2年生（現中3）】

	国語	社会	数学	理科	英語
与論町	75.6	67.6	72.3	68.0	60.6
大島地区	77.3	67.7	69.2	68.2	58.8
鹿児島県	77.3	66.8	70.2	68.6	60.4

上の表のように、現・小6児童の学力は、各小学校における学力向上の取組が実り、全ての教科において地区・県平均を上回っています。

現・中2、中3については、平均すると地区・県平均と概ね同等ですが、与論中学校は、生徒の学力のさらなる向上と学習習慣の一層の定着を目指し、今年度から単元テストを実施する教科を増やしています。

与論町の児童生徒に確かな学力を身に付けさせるための先生方の日々の取組に感謝いたします。各御家庭におかれましても、お子様の夢実現のために、引き続き学校との連携を続けてくださいますようお願いいたします。

さて、鹿児島学習定着度調査では児童生徒質問紙も実施され、子供たちは、学習に関する意識や学び方等について回答しました。

その中で、「子供たちにとってやりがいを感じる授業スタイル」を尋ねる質問がありましたので、その結果を紹介します。

「子供たちがやりがいを感じる授業」

		やりがいを感じると答えた子供の割合(%)	参考 県全体の割合(%)
1	自分たちで調べて、課題を解決する授業	91.8	91.6
2	自分たちで考えたり、話し合ったりする授業	87.4	91.7
3	自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業	86.2	84.8
4	難しい課題に挑戦する授業	85.9	85.2
5	タブレットやパソコン、電子黒板等を活用した授業	78.6	87.2
6	先生の説明の時間が多い授業	59.6	63.6

上の表のように、与論では「自分たちで調べて、課題を解決する授業」にやりがいを感じている子供たちが大変多いようです。また、「自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりする授業」や「難しい問題に挑戦する授業」にやりがいを感じている子供たちが県平均と比べて多いことも特徴です。

これらの結果からも、先生方が普段の授業づくりに工夫をなさっている様子が見て取れます。

教育委員会活動報告

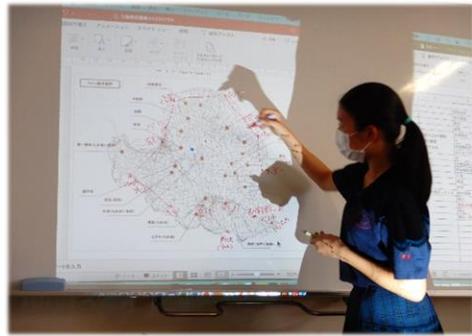
定例会	6月1日（水）開催
<ul style="list-style-type: none"> 各種補助金交付要綱における旅費支給補助の内容の見直しについて 与論町十五夜踊り保存会補助金交付要綱の一部改正について 与論の十五夜踊り地域の伝統行事等のための伝承事業補助金交付要綱の制定について 文化財の指定について 与論町子ども読書活動推進計画について 与論町多目的運動広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 与論町多目的運動広場クラブハウスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 与論町立学校給食センター条例施行規則の一部改正について 『誠風 第303号』の発行について 	
臨時会	6月23日（木）開催
<ul style="list-style-type: none"> 区域外就学について 学校評議員の委嘱について 	

東京大学大気海洋研究所 夏季集中サイエンスキャンプにむけて

令和4年8月2日（火）から8月4日（木）に東京大学大気海洋研究所と与論町海洋教育推進協議会の合同企画「与論高校生対象 夏季集中サイエンスキャンプ」が実施されます。この活動は「最先端の科学研究を体験し、大学で行う科学研究の一端を知る。」「サイエンスキャンプでの分析結果や考察を通して得られた経験を与論島全体へフィードバックすることで、与論島の人材育成に貢献する。」ことを目的としています。与論高校の代表として東京大学大気海洋研究所に派遣されることになった高校2年生6名は、東京大学大気海洋研究所からの支援および与論町のサポートを受けて、与論島の水を用いた化学分析実験を行います。

生徒たちはこれまでに、与論島の水を分析して知りたいことなどを考え、研究計画書を作成しました。その研究計画書を基に、7月9日（土）から7月13日（水）までの5日間で、与論高等学校の代表生徒と東京大学大気海洋研究所の先生が与論町内一円の地下水や海水等を採水し、後日実施されるサイエンスキャンプでの分析実験に向けて準備を行いました。

8月4日（木）には、東京大学柏キャンパスの研究所と与論町役場多目的ホール、与論高等学校を繋ぎ、この一連の研究活動の成果発表会をオンラインで実施する予定です。結果発表会は一般の方も参加可能となっております。ご興味のある方は、学務課（小倉）までお問合せください。



『生涯学習県民大学講座』を開催しました！

6月11日（土）与論町地域福祉センターにおいて「生涯学習県民大学講座」を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、人数を制限した中での講座になりましたが、講座1は『琉球王国・グスク時代の与論』と題して、志学館大学教授原口泉氏を講師に、講座2は『思春期の‘ころ’とは？～親子の良好なコミュニケーションのヒント探し～』と題して、志学館大学人間関係学部助教野元明日香氏を講師にお招きし、講演していただきました。密を避けながらも対面形式で、講師と会場が一体となった講座を開催することができました。

受講者からは「改めて自分の島のことを知らないと痛感しました。」「幅広い歴史の話に興味深く聞くことができ、有意義な時間となりました。」「

「親として色々気づきがあり、良かったです。帰ってすぐ実践できるお土産をいただきました。」など、感謝の言葉や意見等を聞くことができました。また、与論城跡への関心や子どもとのコミュニケーション方法を学ぼうとする意欲の高まりを感じることができました。



講座1（原口氏の講演の様子）



講座2（野元氏の講演の様子）